

かざま うら

議会だより

迎春



体験学習で収穫した米でもちつき
(風間浦小学校)

No. 89

平成30年1月9日発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2115(FAX兼用)

- 2 ■ 議長・副議長年頭挨拶
- 4 ■ 定例会のあらまし
- 6 ■ 委員会報告
 - 議会運営委員会
 - 総務常任委員会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
- 9 ■ 一般質問
- 11 ■ 活動報告・追悼
- 12 ■ ちょっと一言・編集後記

共
に
創
生

風間浦村議会

議長

金森一規

明けましておめでとうございます。
村民の皆様には、健やかに新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、村議会を代表し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、日頃より、議会活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の世界情勢は、財政不安・内紛・対立・核武力等、混沌としております。我が国においても、急激な円高や国内企業の空洞化が進み、雇用環境は益々厳しいものとなっております。地方行政にあつても、先行き不透明感が一層増しています。さらに、全国各地での自然災害の猛威には改めて備えの大切さ、連携の必要性を痛感させられているところです。

我が村においては、幸いにも、ここ数年

大きな災害に遭っていませんが、有事に備え、安心安全なまちづくりの推進を目指し、村一丸となって取り組む体制の確立を進めなければならないと考えております。

今、村では「下風呂温泉施設整備事業」、そして今後予定されている「役場・消防庁舎整備計画」とハード面において大きな事業を抱えております。計画の将来像を十分に満たす内容か、村民の代表機関として監視し、適宜、提案もしていきたいと思っております。

また、低迷が長引く地場産業の漁業については、村内外問わず、あらゆる知恵と工夫を結集し、未来に繋げる漁業振興対策を継続する必要があると思っております。

観光客の減少、少子高齢化など様々な問題に直面し、今まさに、村づくりのあり方そのものが大きな課題となっております

が、限られた財源で村民生活・福祉の向上が図られ、効率のよい予算編成になることを要望していきます。

こうした厳しい環境を乗り越え、魅力があり、住みよい村づくりを進めていくために、議員一団となって村当局と切磋琢磨し、時には牽制と協調をもって村政の前進を目指すとともに、創意工夫を重ね、村民の皆様が村政運営に関心を持ち、参加できる環境を整え、村民と行政の橋渡しとしての役割と責任を自覚し取り組んでいきます。どうか、本年も相変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が村民皆様に素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭にあたり

風間浦村議会

副議長 杉山 太

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成30年の新春を迎え、村民皆様のご健勝とご多幸、そして今年一年が輝かしい年になりますことを心よりご祈念いたします。

昨年は、7月に九州北部豪雨が発生しました。近年におけるゲリラ豪雨や集中豪雨は、地球の気候変動の影響なのか大変気にかかることです。本村においては急傾斜地が多く大変心配されるところであります。豪雨災害への対応・対策も大きな課題と認識いたしております。被災地の一日も早い復旧・復興と本年の無災害を願うところでございます。

さて、全国的な問題であります人口減少・地方の過疎化とともに風間浦村においても様々な課題が山積しています。特に地域経済の疲弊は深刻な状況にあるように感じます。ここ数年における風間浦村名物のスルメイカの不漁や長引く観光業の低迷は、漁業と観光の村づくりを掲げる本村にとりまして、大

変に悩み深い問題と感じます。本年は、スルメイカの資源が回復し、豊漁となりますことを切に願うところです。

また、今後において増えることが予想されます空き家対策や地域コミュニティの機能が発揮し続けられるような施策や生まれる人や住んでくれる人を増やす取り組み等様々な多くの重要課題が山積しています。現状の問題点や改善点の調査・研究に努めることが、議会の大きな役割の一つでございます。

私ども村議会も皆様の貴重なご意見を糧とし、生きがいを感じ、活力に満ちて安心して暮らせる持続可能な村づくりのため全力で取り組む所存でございます。皆様の一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

今年一年の豊漁と景気が浮揚しますことを心からご祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

議員一同、

村民の皆様のご多幸をお祈り

申し上げます。

議員 平井 賢一

” 中嶋 茂

” 菊池 隆年

” 蛸島 巨

” 能登 勝彦

年頭挨拶



専決案1件、人事案件1件、条例案等7件、補正予算案4件、意見書3件を承認・同意・可決

平成29年第4回定例会（12月議会）は、12月5日から7日までの3日間の会期で開会されました。

5日は、村長提案理由、委員会報告の後、2名の議員が一般質問に登壇しました。

7日には、議案の審議・採決を行い閉会しました。審議された案件内容は、次のとおりです。

専決処分
全会一致承認

(賛成6・反対0)

★平成29年度一般会計補正予算（9月28日付け）

内容・346万2千円の追加で、合計23億6千979万5千円

10月22日執行の衆議院総選挙に係る経費の計上

人事案
全会一致同意

(賛成6・反対0)

★下風呂財産区管理委員会委員の選任につき同意を求めることについて

内容・欠員となっていた管理委員会委員に、松井一義氏（57歳）を選任
任期は、前任者の残任期間である平成32年3月31日まで

条例案
全会一致可決

(賛成6・反対0)

★職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

内容・県人事委員会勧告に準ずる職員の給料等の改正
主な改定ポイント

- ・若年層を中心に給料月額引き上げ
- ・勤勉手当の支給割合を年0・15月分引き上げ

★特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

内容・県の特別職給料の改正に準じ、期末手当の支給割合を年0・1月分引き上げ

★教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例

内容・村の特別職給料の改正に準じ、期末手当の支給割合を年0・1月分引き上げ

★議会議員の報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

内容・村の特別職給料の改正に準じ、期末手当の支給割合を年0・1月分引き上げ

★教員住宅使用料徴収条例の一部を改正する条例

内容・蛇浦地区にある教員住宅の建替に伴い使用料を改正

★下北地域広域行政事務組合規約の変更

内容・第5次下北地域広域市町村計画の期間終了に伴う共同処理事務の一部変更

★定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結

内容・地域内外の住民との交流等の項目に、連携する具体的な事項を加える一部変更

補正予算案
全会一致可決

(賛成6・反対0)

★平成29年度一般会計補正予算

内容・1千248万9千円の追加、総額23億8千228万4千円

- 歳入の主なもの
- ・国庫支出金 166万円の追加
- （社会保障・税番号制度システム整備費補助金他）
- ・繰越金 550万円の追加

(前年度繰越金)

- ・村債 430万円の追加
- (急傾斜地対策事業債)

歳出の主なもの

- ・子ども・子育て支援制度に係る施設型給付費負担金 79万9千円の追加
- ・活イカ備蓄センター屋根改修工事費 125万円の計上

- ・甲平ノ下区域急傾斜地崩壊対策事業負担金 500万円の追加

★平成29年度国民健康保険特別会計補正予算

- 内容・歳出予算の内容更正、総額4億3千538万1千円。

歳 出

- ・一般被保険者高額療養費 400万円の追加
- ・予備費 400万円の減額

★平成29年度簡易水道特別会計補正予算

- 内容・63万3千円の追加、総額1億156万円

歳 入

- ・一般会計繰入金 63万3千円の追加

歳入の主なもの

★平成29年度介護保険特別会計補正予算

- 内容・歳入歳出における内容更正

歳 入

- ・国庫支出金 68万円の追加
- (介護報酬改定等システム改修事業補助金)
- ・一般会計繰入金 68万円の減額

歳出の主なもの

- ・介護保険事業計画策定委員報酬 18万円の計上

特別委員会設置

★『下風呂温泉施設整備及び役場消防庁舎整備計画に係る特別委員会』

これまで全員協議会で協議していた「下風呂温泉施設整備事業」について、計画年度が重複する「役場及び消防庁舎整備計画」を含め、全議員で構成する特別委員会を設置し審査することとした。

- ・委員長・杉山 太委員
- ・副委員長・嶋島 巨委員

- 《付託事件》①下風呂温泉施設整備事業について
- ②役場及び消防庁舎整備計画について

意見書

全会一致決

(賛成6・反対0)

★道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

- 内容・①道路整備に必要な予算の拡充を図ること
- ②道路特財法の規定に基づく補助率等の高上げ措置について、平成30年度以降も継続すること

《意見書送付先》衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・国土交通大臣

★『全国森林環境税』の創設を求める意見書

- 内容・市町村が主体となって実現する森林整備等に必要な財源に充て、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を求める

《意見書送付先》内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・農林水産大臣・環境大臣経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長

★若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書

- 内容・①マクロ経済スライドを廃止し、「年金カット法」の年金額改定新ルールは実施しないこと
- ②全額国庫負担による最低保障年金制度を早期に実現すること
- ③年金の支給開始年齢の引き上げをやめること
- ④年金の隔月支給を毎月支給に改善すること

《意見書送付先》衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣



村長提案理由説明 (定例会)



8名が傍聴 (定例会)

議会運営委員会

11月16日開催 (欠席議員なし)

平成29年12月定例会の運営に関する事項について審議。

☆定例会は

今期定例会は、12月5日招集の意向を受け、提出となる案件等を勘案した結果、会期は、同日より7日までの3日間とする。

招集告示日は、11月27日、一般質問は、昨日が通告期限で、2名の一般質問が受理された。

会議日程は、開会初日の5日は、会期の決定、提案理由の説明、特別委員会の設置、各委員長報告並びに一般質問までとし、7日に議案等の審議を行う。

☆議案等の審議は

報告事項及び人事案件を除く議案は、総務常任委員会へ付託し審議する。

☆特別委員会の設置

下風呂温泉施設整備に係る特別委員会に、年次計画が重複する「役場及び消防庁舎整備計画」を加えた特別委員会を設置する。

名称…『下風呂温泉施設整備及び役場消防庁舎整備計画に係る特別委員会』

○付託事件

- ①下風呂温泉施設整備事業について
- ②役場及び消防庁舎整備計画について

☆人事案件の提案がある場合の表決方法は

従来どおり無記名投票で行う。

☆諮問は

受理した陳情は、1件でした。

○件名

『若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情』

提出者・・・全日本年金組合青森県本部
執行委員長 千代谷 邦弘
取扱い・・・総務常任委員会へ付託

総務常任委員会

12月6日開催 (欠席議員なし)

12月5日招集の平成28年第4回定例会開会日に本委員会に付託された3陳情・意見書及び12議案について議案順に担当課からの説明を受け審査した。

☆陳情第3号「全国森林

環境税の創設に関する意見書採択の陳情」

☆陳情第4号「若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情」



委員会の様子



完成間近の新教員住宅

いづれの陳情も公益上の見地から妥当であると判断し採択とした

☆教員住宅使用料徴収条例の一部改正

例の一部改正

問
委員

住宅の竣工日、入居希望者の有無は

答
行政側から

12月20日、竣工予定で、現在数名の希望者がいる

☆定住自立圏の形成に関する協定の変更について

問
委員

追加となる婚活支援事業の連携方法は

答
行政側から

市町村毎に実施している事業とは別に、広域事業として行う

当村の負担は15万円

☆平成29年度一般会計補正予算

問
委員

甲平ノ下区域急傾斜地崩壊対策事業負担金追加



甲集会所周辺

の内容は

答

行政側から

事業主体である県の事業費が追加となったことによる

問

委員

活イカ備蓄センター屋根改修工事の内容は

答

行政側から

当初、塗装での対応予定であったが、25ヶ所の雨漏りが判明したことによる改修工事

問

委員

マスコットキャラクター

答

行政側から

公表は、鮫鱈感謝祭を予定している

問

委員

☆平成29年度介護保険特別会計補正予算

介護保険計画見直しの際に、保険料の増額はあるか

答

行政側から

現在検討中で、3月には正式に決定予定であるが、概ね100円から200円程度の上がり幅を想定

☆意見書案「道路整備予算の拡充及び道路整備に

係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書」

道路整備に必要な不可欠な制度であると判断し、意見書提出を採択

《審査の結果》
付託された全12議案及び2陳情、1意見書に対し、全会一致で承認・可決・採択とした。



活イカ備蓄センター

大間原子力発電所対策特別委員会

12月6日開催

(能登副委員長欠席)

電源開発(株)から

☆新規制基準適合性審査の対応状況について

本年11月に開催された16回目の審査会合の内容が報告され、下北半島西部の隆起傾向は東北地方のものとは異なり、広域的な隆起で、千年単位で0・1〜0・3mの隆起

でゆっくりしたもので、12から13万年前からの隆起は、20〜50mと活断層や地震性隆起は小さいと見られるとの報告

尚、プラントに係る審査は行われていない

☆地質調査の状況について

ボーリング調査、トレンチ調査において若干の



会社からの報告(原特委)

変更があり、年内終了が一部年明けになるとの報告

☆函館市民等からの建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

函館市訴訟は、14回の口頭弁論が開催され、会社としては適宜、適切に考えを主張していく

問
委員

工事が遅れることによる地域経済への影響に対して、会社の対応は

答
会社側から

周辺工事、宿泊関係等できる限りやれることはやっていく

☆その他

問
委員

三ヶ町村協議会の県選出国会議員への道路要望活動は行うのか

答
行政側から

三ヶ町村協議会事務局から1月下旬の予定と連絡があった

全員協議会

10月19日開催 (欠席議員なし)

1. 下風呂温泉施設整備事業について

完成した「下風呂温泉整備事業基本構想(概要版)」について、行政側から説明

【目的】

既存の共同浴場(大湯・新湯)の老朽化に伴って行う新下風呂温泉施設計画を筆頭に、下風呂温泉郷の現状整理や問題・課題の抽出を行うとともに、共同浴場の跡地利用計画や既存のアーチ橋、地下道などを含めた周遊観光ルートを構想し、下風呂温泉郷に対してより有効的な整備をすることで、本村の活性化を図る。

【施設整備構想】
大湯浴舎・新湯浴舎を

答
行政側から

現在積算等を委託しており、10月31日納品となっているのでその後になる

問
委員

旧診療所の解体については、以前は1千500万円程度となっていた源泉の所有は村である

答
行政側から

9月末での進捗状況を説明しており、そのくらいの規模になる。今後は基本となる資料ができてから、その都度報告する

問
委員

冬場が長い下北で足湯はいかがなものか

答
行政側から

大湯・新湯浴舎解体後の計画は、イメージ図で再度検討することとしている

問
委員

今回の場所だけで、公民館等の場所とか腹案はなかったのか

答
行政側から

10年前に検討した、地元の総意をくんでの計画である

◇まとめ◇
今後は、特別委員会を設置し協議していく必要がある

2. 活イカ備蓄センター改修工事について

国2分の1補助事業を活用し、既存のセンター内の拡幅、トイレの増設及びリース場の屋根の改修事業

【事業内容】
工事請負費2千440万円及び備品購入費500万円(計画)等である

村政を問う！ 一般質問

一般質問とは、定例会（臨時会は除く。）において、議員が、あらかじめ通告して、村の施策の状況や方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においては、一質問者の持ち時間は1時間に制限されています。

今期定例会では、2名の議員が登壇しました。



菊池 隆年 議員

下風呂温泉事業について

Q 菊池 総事業費、年間収入、年間運営コストの見込みは？

A 村長 概算事業は、建物補償等を除き約5億3千700万円。収入見込みは、引き湯使用料約276万円と入浴料金運営コストは積算中

・村の財政事情に合致した計画かについては、今後基本設計・実施設計に基づき収支の試算を行い、全体的な財政事情と併せ議会へ説明していく。

Q 菊池 下風呂地区住民の理解は得られてるのか。

A 村長 概ね理解は得られている。

・下風呂財産区管理会、旅館組合、女将の会そして地区住民への説明会を開催し、候補地及び概算総事業費について説明している。

Q 菊池 建設後の施設運営主体はどこか。下風呂財産区との関わりは？

A 村長 事業運営主体は村直営財産区とは、今後協議する。

Q 菊池 今後の議会へ説明はいつか。

A 村長 段階毎に、事業及び予算を説明していく。



大 湯



新 湯



中嶋 茂 議員

第1次風間浦村総合計画及び風間浦村過疎自立促進計画に伴う事業について

1. 下風呂温泉整備事業について

Q 中嶋 事業費5億3千700万円の内訳は？

A 村長 土地取得費2千800万円、外構費1億300万円、建設設備費3億1千700万円、その他調査費・管理費等8千900万円

・入浴料金は、現行どおりを予定しており、桑畑温泉との関わりについては、桑畑温泉は村民の福祉向上が目的で、下風呂温泉は観光機能を持たせた施設とし、両方を風間浦村の一体的な温泉事業として運営する。

2. 役場庁舎の建設について

Q 中嶋 役場庁舎の建設は何年度か。

A 村長 平成32年度までの実施設計、事業申請を目指す。

・国において、津波・地震対策を財政支援する「緊急防災減災事業債」が平成32年度まで延長されたので、今年度から準備作業を始め、財源確保の調整を図りながら平成32年度までに同事業債の申請を目指す。
・役場と同様に老朽化が著しい消防庁舎についても、役場庁舎と複合的なコンセプトにより公共施設整備を図っていく。

3. 簡易水道事業について

Q 中嶋 易国間・蛇浦簡易水道施設整備はいつか。

A 村長 平成31年度の着手を目指す。

・平成28年度、平成29年度に実施した漏水調査結果により、適正給水量の把握が可能となり、平成30年度以降施設整備事業を再開したい。
・平成30年度は新浄水場建設のための用地取得、平成31年度から施設整備に着手、平成33年度からの供用開始を目指す。
・広域避難道古野大川目線工事との兼ね合いについては、浄水場とは一定の距離があるので影響はないと考



易国間浄水場（奥が急速濾過機）



新温泉施設計画地

【平成29年議会活動の概要】

(1) 定例会・臨時会の開催状況

区 分	会 期	会期日数	審議日数	休会日	繰上日数	傍聴者数
第1回定例会	3月6日～8日	3日	2日	1日	0日	4人
第2回定例会	6月6日～8日	3日	2日	1日	0日	4人
第3回定例会	9月5日～11日	7日	2日	5日	0日	4人
第4回定例会	12月5日～7日	3日	2日	1日	0日	9人
第1回臨時会	7月18日	1日	1日	—	—	0人

(2) 審議件数等

区 分	村 長 提 出					議 員 提 出			
	条 例	予 算・ 算 決	人 事	専 決 処 分 報 告	そ の 他	意 見 書	選 管 選 挙	委 員 会 告 白	
定 例 会	12	30	18	6	9	4	2	19	
臨 時 会	0	1	0	0	0	0	0	0	
計	12	31	18	6	9	4	2	19	
審議方法	本会議即決	0	1	18	0	7	1	2	19
	委員会付託	12	30	0	6	2	3	0	0

(3) 一般質問の状況（カッコ内は、平成28年の状況）

区 分	質 問 者 数	内 容 件 数
第1回定例会	0人(4人)	0件(5件)
第2回定例会	5人(2人)	8件(2件)
第3回定例会	1人(1人)	1件(1件)
第4回定例会	2人(3人)	2件(3件)
計	8人(10人)	11件(11件)

～ 追 悼 ～

去る、平成29年10月6日急逝された、故・酢谷一利議員のご冥福を祈り、平成29年10月19日開催の全員協議会の場において、杉山太副議長の「哀悼のこぼ」の後、出席者全員で黙とうを捧げました。



故・酢谷一利氏

【在任期間：平成27年5月1日～平成29年10月6日（1期目）】

・議会運営委員会委員、議会広報編集委員会副委員長、下北地域広域行政事務組合議会議員を歴任

心よりご冥福をお祈りします



『哀悼のこぼ』を詠み上げる杉山副議長



出席者全員で『黙とう』

ちよつと一言

地域の 元気な お年寄り!!

「海の好きな 下風呂の漁師さん」



ちよつと一言
編集後記

若い頃は、遠洋漁業で働いた時期もあったが、今は地元で「海一筋」頑張っています。

昔は海の仕事で家計を支えることが出来たが、この頃は海の様子がおかしくなっていると、つぶやいています。

いつか海が良くなって、ハマが活気で溢れる事を願っています。

(取材：中嶋)

編 集 後 記



議会広報編集委員会
委員長 蛸島 巨
副委員長 中嶋 茂
委員 菊池 隆年
" " 杉山 太
" " 能登 勝彦

村民の皆様、新年あけましておめでとーございませす。
新しい一年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。
昨年は基幹産業である水産業・観光業ともに振るわず厳しい一年となりました。今年には豊で住みやすい村であるよう願っています。
風間浦村議会も、その一助となるよう努めます。
(文：能登)